

栄ちゃんの 熱血演歌塾 『一途な女』 編



不器用な男がおんなへの心情を吐露する映像をイメージして下さい。
愛を告白する場所にしてはちょっと不似合いなロケーションかもしれませんが、
不遇な身である自分を慕ってくれる女性に、二人で生きればさやかな幸せを
掴めるかも知れない。いや掴もう！お前と精一杯生きて幸せにするよ！
「齒の浮くような口説き文句も口に上せられない馬鹿正直な男の
恋物語です」メジャー（長調）の曲です。リズムも明るく弾むような
イントロでエレキギターのソロの響きも華麗に鳴り響きます。

それでは行ってみましょう！～肩が寒けりゃ～ 歌い出しの～肩が～の
表現は大事です。実直な男のまっすぐな表現が相応しいと思います。
その為には大きく口を開きお腹から声を出します。
腹筋を柔らかく使う感じで力まないで。コツは口をタテに開く事です。
ヨコに開いて声を出すと、この歌の場合は別の人物像の表現になります。
～寒けりゃ～はハズむ感じで！～りゃ～はバイブレーションを
たっぷり使しましょう。

～体を寄せな～「か」の前ででブレス（息継ぎ）をしますが
たっぷりと最大量を素早く獲りましょう。

何故か？～体～の音がこの歌の中でトップ（この歌の中で一番高い）の音になります。
しかし最大限の音量で怒鳴ってはダメです。コツは喉の奥を開く事。

柔らかく遠くに声を飛ばす感じで。

～寄せな～明るい声で、前段の～りゃ～より大きなバイブレーションを使います。

ここまでワンプレスなのでより深いブレスを！～夢が欲しけりゃ～「ゆ」は少し柔らかめの声で、
芯のある声で。

「め」はファルセット（裏声）気味に。「が」はこぶしの味わいを最大限に駆使して。

～欲しけりゃ～はこの歌の低音域をしっかり支える感じで力強く野太い声を使いましょ。

～眼を閉じろ～ここの流れはレガート（滑らか）に。

「眼を」言葉を特にハッキリと。「閉じ」はこぶしの味わいを。

「ろ」は明るい声でバイブレーションたっぷりです。

三行目の～街の外れのこの居酒屋が～ここはお手拍子に乗って明るく弾んで歌う箇所です。

心情的には、一、二行目では二人の世界。三行目は居酒屋の中の全体を見回す感じです。

従ってこの行は部分的な感情移入は要らないと思います。

ここは楽しくリズムに乗りましょう。四行目は又二人の世界に戻ります。

～お前と俺との情けのねぐら～サビの聞かせどころで歌いどころです。

明るく伸びやかに男の思いを真っ直ぐに歌い上げます。

三行目はこのサビを聴かせる為に用意されている位の気持でその歌い分けを意識しましょう。

しかし三、四行目の関係性は切り離せません。四行目を上手く歌うコツはブレスにあります。

～お前と～の「お」の直前でいつもより深く大きいブレスをする事です。

～情けのねぐら～「な」の前でもブレスをしますが、この場合は休符が短いので素早く小さく

吸う事が大事です。一行目の「か」や四行目の「お」の前のブレスはお腹に深く息を入れますが、

ここはお腹に深く入れる時間はありません。

あくまでも素早く浅く！～ねぐら～はこぶしとバイブレーションをたっぷりと。

～せめて飲もうよ～「せ」の前でたっぷりとゆっくりと深く大きくブレスを摂ります。

音量もたっぷりと太い声で～せ～。

～め～て～はしっかり弾んでタンタタンというリズムのアクセントを強調して！

～て～は言葉をハッキリとそして大事な事は子音のエを声を出し出すような感じで！

～飲もうよ～前段の～せめて～をたっぷりと歌いました。

ここは小粋に切れ味良くちょっと小さくまとめます。リズムの乗りはタタタタンです。

前段の乗りと比較して見て下さい。

～コップ酒～ここは最後の聞かせどころで、大きく歌い上げます。その為に大きくブレスを

しますが、三回目の大きいブレスの中でここが一番その量を必要とします。

そのコツは、最初の「コ」が一番高い音でしかもロングトーンで、ブレスをするタイミングも

一番短い休符です。従って前段で述べた～飲もうよ～は音量は変えずにコンパクトに。素早く。

最大の量をブレスします。

この様に今回はしつこい位にブレスの重要性を述べましたが、基本的にメジャー（長調）の歌は

マイナー（短調）の歌と比較すると、声を抜いたり、引いたりする箇所が殆どありません。

前向きに明るく二人の未来を高らかに歌いましょう。

せめて飲もうよ
お前と俺との情けのねぐら
町のはずれの居酒屋が
夢が欲しけりゃ
肩が寒けりゃ
体が寄せな
この居酒屋が

作詩 松井由利夫
編曲 前田俊明
作曲 岡千秋